

## 第4次城陽市総合計画について考える

# 市民まちづくりワークショップ かわら版 第2号



### 第2回市民まちづくりワークショップを開催しました！

- 第2回市民まちづくりワークショップを平成28年1月29日(金)に、文化パルク城陽にて開催致しました。今回は、第1回ワークショップで出された“城陽市の強み”について、10年後の城陽市において、その強みがどのようになっているか(残っているか、なくなっているか)と、そうなると思う理由を一緒に考えてもらいました。また、なくならないようにするにはどうしたら良いか(課題)についてもあわせて考えて頂きました。

#### — 当日のスケジュール —

1. 開会
2. 本日の予定及びワークショップの進め方
3. 議論のポイント
4. ワークショップ  
「10年後の城陽市の課題を考える」
5. 閉会

### ～ワークショップの開催にあたって今西副市長から挨拶～

平成27年度に実施された国勢調査の速報値によると城陽市の人口は76,884人であり、ピークであった20年前と比較すると、10,000人ほど減少している状況です。また、高齢化率についても京都府平均よりも高い状況にあります。このような状況ではありますが、新名神の開通、東部丘陵地の開発、国道24号沿線への企業立地など、府内でも最も発展の可能性を秘めた地域であると考えられます。今回は10年後の城陽のあり方について検討いただくことになっておりますが、新名神を活かした城陽の魅力づくりとともに、魅力を世界に発信していけるようなまちにできるようご意見を頂きたく存じます。



今西副市長 挨拶

### ～ワークショップでの議論のポイントについて小島先生からアドバイス～

10年後の課題を考えるというのは大変難しいことです。そのため、10年後の城陽市がめざすべき姿を思い浮かべ、楽しみながら議論頂くことが重要だと思います。また、めざすべきまちの姿とともに、何が必要なのかということも同時に考える必要があります。アンケート結果を見てみると、将来城陽市に戻ってきたいと考える若者が多く、今後は若者が働く場所を確保するとともに、若者にとって魅力あるまちづくりを進めるということが重要になってくると思います。



小島先生のご講演

### ～城陽市の「強み」についてみんなで意見を出し合いました～

- 3グループに別れ、「安全・快適」「福祉・教育・歴史」「環境」「産業」について、城陽市の強みが10年後どうなっているのか、またその強みを残していくための課題について話し合い、最後に発表しました。

#### Aグループ

##### ■安全・快適

	10年後残っている と思う強み	10年後なくなっている と思う強み	強みを強みとして残していくための 課題
交通	●都市部への鉄道によるアクセス性 ●地域内の自転車・徒歩での移動の容易さ	●JR・近鉄沿線から離れている地域の移動手段	●地域内交通網の充実
地域コミュニティ		●地域コミュニティの希薄化	●左義長、地区まつり、イルミネーション等の地域活動の維持
福祉	●医療機関の充実		●開かれた老人施設及び施設利用者増大に備えた整備の充実
災害	●古川の改修工事や地域防災の維持による防災力	●現在は災害が少ないが市内の開発により雨水が溢れ、洪水に繋がる恐れがある	●高齢者、弱者への防災関係支援や各防災組織、市との連携強化

##### ■産業

	10年後残っている と思う強み	10年後なくなっている と思う強み	強みを強みとして残していくための 課題
産業全般	●企業の立地 ●農業関係	●地場産業（金糸銀系）、既存の商店街の衰退 ●観光の産業化（※） ※10年後強くなるべき強み（現在は弱み）	●地場産業の活用（企業とのコラボによるPR等） ●寺田駅周辺の活性化 等

## Bグループ

### ■福祉・教育・歴史

	10年後残っていると 思う強み	10年後なくなっていると 思う強み	強みを強みとして残していくための 課題
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択幅のある学校教育</li> <li>● 働きながら子育てできる環境</li> <li>● 中学校の給食の充実</li> <li>● 多様性を認める社会環境</li> <li>● 子ども会での充実した行事の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子化等による施設運営の困難化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの見守り、食、遊び場に関する検討</li> <li>● 放課後の過ごし方に関する新プランの作成</li> <li>● 小中学生スポーツクラブの活性化等</li> <li>● 子どもが将来帰ってくるような教育の実施</li> <li>● 保育園の充実や子ども会への補助、既存住宅地への若い世代の流入促進</li> </ul>
地域コミュニティ・住民のまとまり		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア活動やコミュニティセンターの維持運営などの地域活動に関する担い手の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会加入に対するメリットの付加等の自治会非加入者への対応</li> </ul>
歴史豊か			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 史跡・古墳を用いた情報発信（お土産への活用など）</li> <li>● 地元に着愛を持つような活動（城陽の民話（伝説）、教育の推進</li> </ul>

## Cグループ

### ■環境

	10年後残っていると 思う強み	10年後なくなっていると 思う強み	強みを強みとして残していくための 課題
住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新名神により市内通過交通が減少し、住環境が改善</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路網・居住環境の整備</li> </ul>
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 青谷梅林（開発規制がある）</li> <li>● 鴻ノ巣山、青谷梅林、木津川等の豊かな自然</li> <li>● 温暖な気候</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農家の高齢化、水田の減少</li> <li>● 城陽市の水の歴史</li> <li>● 宅地開発等により身近な自然の消失</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然を守るための規制の実施</li> <li>● 健康をキーワードとした商品開発</li> <li>● 遊歩道の整備による市民の保全意識の向上</li> </ul>

### ■産業

	10年後残っていると 思う強み	10年後なくなっていると 思う強み	強みを強みとして残していくための 課題
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お茶、梅などの特産品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境の変化に伴ういも、梅、いちじく等の特産物の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地としてPRの促進</li> <li>● 青谷の梅林、城州白、梅製品の開発と後継ぎ問題の解消</li> </ul>
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水を活かした産業</li> <li>● IT産業の企業誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大型商業施設の立地による商店街の衰退</li> </ul>	
農業		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近郊農業の農地の減少</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多くの人の歴史への関心、興味は消えない。歴史を発掘する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民意識の向上</li> </ul>



➤ 各グループからの発表後、小島先生に講評いただきました。

各グループの発表を聞いていると、「強み」と「危機感」が本日の議論の要点になると考えられます。城陽市では、“人”の要素で城陽の強みを活かすということが重要であると考えられます。コミュニティセンターの活動は城陽の特徴ではありますが、組織の高齢化や人口の減少等の課題があります。“人”の要素は一度なくなったものを再びつくるのは大変であることから、努力すべき点ではないかと考えられます。

～第3回は平成28年2月開催予定です～

城陽市の10年後の「課題」について多くの意見を頂き、今後どのようなことに注力していく必要があるのか明確にすることができました。今回の結果は、今後「地域を良くするための方策」や「自分たちで何ができるか」といった項目について検討する際の基礎資料とします。次回は平成28年2月に「こんな城陽市に暮らしたい！」をテーマとして開催予定です。

#### 【お問合せ先】

城陽市役所 企画管理部 企画調整課  
TEL:0774-56-4041 FAX:0774-56-3999  
E-mail:kikaku@city.joyo.lg.jp

